

キーパーの拠点

国内の主要都市に代理店、営業所を構えています。
国内だけでなく、海外の市場の要請にも応じるよう、グローバルに供給ができる体制を組んでいます。



キーパー野球部
年齢も部署も様々です。
藤沢市の大会に出場するなど、
楽しく活動しています。



三隅工場
島根県浜田市にある。
オイルシールの量産工場で、
1,500万個/月生産しています。



御殿場工場
静岡県御殿場市にある。
ブーツの量産工場で、
740万個/月生産しています。



本社ビル
(神奈川県藤沢市)
JR東海道線辻堂駅の
北口から徒歩約8分。
説明会や選考を行います。



辻堂事業場の再開発を行い、
新しい設計・開発部隊の建屋が
2018年5月に完成しました。

入社案内



品質第一主義を貫く

毎日安心して暮らしていける。
そんなあたりまえの毎日を、
見えないところだけを支える力でありたい。

キーパーへの応募

マイナビ当社ページからエントリーをお願いします。
採用情報等をご案内します。

ご質問・不明な点などについては
下記までお問い合わせ下さい。



マイナビ
当社ページ

お問い合わせ・応募書類提出先

〒251-8515 神奈川県藤沢市辻堂神台2-4-36

キーパー株式会社 総務部 総務・人事課

Tel : 0466-35-1865(直通)

Mail : recruit@keeper.co.jp

HP : https://keeper.co.jp



当社ホームページ



キーパーってどんな会社？

工業用ゴム製品（オイルシール・ブーツ）を材料・製品の開発・設計から生産・販売までの一貫したシステムで展開・・・と言われても、ピンと来ませんよね？

オイルシールって何？

機械内部の潤滑材が外部へ漏れないようにしたり、外部のほこりなどが入らないようにする部品です。車ではエンジン・トランスミッション・デフ・ハブなど、内部に油が入っているユニットの回転軸に使われています。



オイルシール
芯になる金属、オイルを密閉するゴム、密封する力を向上させるバネからできています。

ブーツって何？

車を走らせたり、操舵するためのユニット（人と言うと関節のような部分）で、外からの泥水から保護したり、潤滑材が漏れないようにする部品です。車では動力をタイヤに伝えるドライブシャフトや、ハンドル操作をタイヤに伝えるステアリングユニットなどに使われます。



ブーツ
ゴムや樹脂でできています。1964年から、50年以上にわたって製造しています。

最大の機能を最小のスペースに

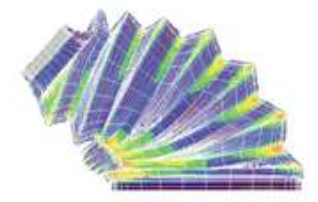
材料・製品の開発・設計から生産・販売までの一貫したシステムで展開しています。

キーパーの製品設計・材料開発・製造について

キーパーは“製造業”ですが、ただ作るだけではなく、材料から製品、金型の設計開発、金型の製作・製造設備・試験装置の開発・製作までを行っています。それぞれの技術が組み合わさり、相乗効果によって高い性能の製品が生み出されています。



長年の経験と蓄積されたノウハウによって薬品を調合・分析・評価することで材料を開発し、製品機能を高めています。



ブーツの解析例。実際にものを作る前にシミュレーションをする事で、開発期間を短く、効率的に製品開発する事ができます。



材料設計技術

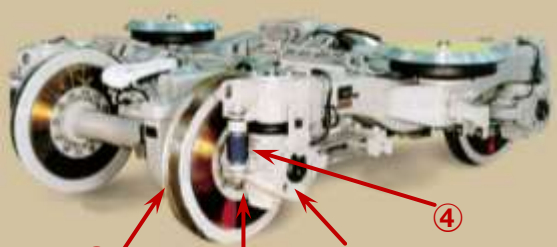


製造技術



製品設計技術

新幹線用台車での使用箇所



- ① 駆動装置用オイルシール
- ② 軸箱用オイルシール
- ③ オイルゲージ
- ④ 軸ダンパー用ダストカバー

赤い矢印部分が自動車での代表的な使用箇所です。



産業用ロボット用減速機



先輩社員の仕事紹介

材料開発部門に所属している先輩社員の一日のスケジュールを紹介します。主にオイルシールやブーツに使われるゴム材料の開発、不具合品の調査等を行っています。

9:00	10:00	11:00	12:00	12:45	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	17:45	18:00
入社 メール確認	日報点検 試験状況確認	客先への提出用報告資料作成	お昼休憩	精査	測定装置	測定データまとめ 報告資料修正	課内打合せ	試験状況確認	通社		

オイルシールやブーツ、ゴム・樹脂について知識がないのですが...

ほとんどの人が、当社の製品やゴムや樹脂について知識の無い状態からの始まりなので心配ありません。

必要な知識(ゴムや樹脂、CAD、解析等)は、入社後の専門的な教育やOJT、研修などで身に付けることができます。



キーパーの環境・品質に対する取り組み

機械部品の潤滑や作動にはオイルやグリースが不可欠。それが漏れると環境に良くないというだけではありません。

そうした基本性能の上で材料開発において環境負荷物質を使わないようにしたり、製品の小型・軽量・省エネ設計による省資源に貢献しています。2003年に全社でISO14001の認証取得をしました。



ISO14001(左)とIATF16949(右)の認定証。IATF16949は自動車産業品質マネジメントシステムの国際規格です。

どうやって作るの？

オイルシールは、金型に金属環と未加硫ゴムを入れて、油圧プレス等で金型を閉じたまま一定の時間と熱と圧力を加えて形を作ります。

その後不要なゴム部分を切って、バネを組み込んで作ります。たい焼きをイメージすると分かりやすいかもしれません。

金型に材料を流して製品を作る、射出成形という製法もあります。



測定機
様々な試験・測定設備があります。




オイルシール自動製造機

製品はどんな分野で使われるの？

自動車が多いですが、鉄道車両、船舶などの交通関連分野、農業機械や建築機械、工作機械、家電分野と幅広い分野で使われています。



当社の製品は様々な所に使われているので、これでもほんの一部。巨大なものから米粒大のものまで多岐にわたります。



創業時に作っていた鉄道車両用ちりよけの「ダストキーパー」という製品から「日本ダストキーパー(株)」という名前で当社はスタートしました。その後「キーパー(株)」に社名変更し今に至ります。前の名残りでロゴはNDKです。左側にある二重線の“C”は、オイルシールのイメージです。